

青森県生協連「2019年度理事研修会」開催報告

1. 日時 2019年8月26日(月) 10:45~14:30

2. 場所 コープあおもり組合員集会室

3. 出席 46名

コープあおもり (18名) 青森県民生協 (5名) 津軽保健生協 (1名) 信用生協 (1名)
県生協連 (3名) 講師: 日本生協連 宮部氏・板谷氏 (2名) 計 30名 (昨年度 46名)

4. 当日プログラム

10:45~10:50	開会挨拶: 平野了三 (県生協連会長)
10:50~12:20	講演「生協の役員の職務と責任について」 講師 宮部 好広 氏 (日本生協連総合マネジメント本部法務部部長)
12:20~12:55	昼食・休憩
12:55~13:55	講演「日本の生協の2030年ビジョン (一次案) を学ぼう」 講師 板谷 伸彦 氏 (日本生協連政策企画室室長)
13:55~14:25	感想交流・発表
14:25~14:30	まとめと閉会: 鎌田敦子 (県生協連常務理事)

今年の研修会は、隔年で開催する新任理事向けの「生協における役員の職務と責任」と「生協の2030年ビジョン」の最前線の討議を学ぶことの二つのテーマで開催しました。

「生協における役員の職務・責任」について日本生協連の宮部氏が講演しました。最初にICA声明における協同組合の定義について触れ、「協同組合の本質は「人々の自治的な組織」そのものにあるが、「共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たす」という目的を実現するために、「事業体」を「共同で所有し民主的に管理する」。組合員の集まりが、経営組織たる「事業体」を民主的に管理する、というのが協同組合の姿である。その内容は生協法に「国民の自発的な生活協同組織」として世界の協同組合運動の到達が日本の生協法にしっかり位置づけられている。



組合員理事の役割と責任について、組合員のニーズと願いを実現することが生協の使命であり、理事は組合員の代表である。事業計画に組合員の要望が反映されているか、組合員目線での意見反映と意思決定への参加、組合員の利益にかなう業務執行がされているかの監視・監督が組合員理事・組合員監事の役割であることが、熱く語られました。

次に、日本の生協の2030年ビジョンについて、日本生協連の板谷氏が講演しました。「2020年ビジョンの振り返りについて、東日本大震災を始めとする相次ぐ災害への対応、福祉・子育て・まちづくりなど地域社会づくりへの参加、平和・国際協力、環境、エネルギーなど、世界と日本社会の直面する様々な問題に向き合い、協同の力で社会的な役割を果たしてきました。人と人とのつながりやすさあがが着実に根つき広がっています。こうした世界の協同組合運動が評価され、協同組合がユネスコ無形文化遺産として登録されるとともに、SDGsの実現に向け



て協同組合の役割に期待が寄せられています。これからの10年を見ると、人生100年時代に入り健康を支える課題や人口減少と高齢化の進行、広がる格差と貧困など地域のくらしの問題が深刻化していきます。さらに、進む地球温暖化、増大する世界の食料需要などの課題があります。2030年ビジョンでは、私たちは、「生涯にわたる心ゆたかなくらし」「安心してくらし続けられる地域社会」「誰一人取り残さない持続可能な世界・日本」「組合員と生協で働く誰もが活き活きと輝く生協」



「より多くの人がつながる生協」をめざします。」と紹介されました。最後に、2030年ビジョンは2020年の総会に提案予定であること、村木厚子委員の発言について紹介がありました。

続いてグループごとに感想交流を行い、発表で全体共有しました。最後に、鎌田常務理事がまとめとして、「組合員理事としての役割を認識しつつ日頃の理事活動に取り組んでいきましょう」と挨拶がありました。

<参加者の感想から（一部）>

●講演「生協の役員の職務と役割について」で学んだこと

- ・組合員理事としてあらゆる活動、事業に組合員の意見を反映させられるよう、地域の意見等、組合員さんとのコミュニケーションが大切だと感じました。
- ・組合員理事ですが、私たちの職務と責任については、組合員で成り立っているのだから、組合員の意見を聞いて、理事会では業務執行の監視・監督する立場でいろいろな意見を述べて、問題が起きてもその後どうなっているか、二度と悪い問題を繰り返さないよう関与していきたい。自分の意思をはっきり出していきたくて思いました。
- ・事業計画を総会で話し合うのは協同組合だけという点を含め、協同組合への理解を深めることができました。「組合員による経営組織の民主的管理」「理事は組合員の代表」という点を改めて重要だと思いました。



●講演「日本の生協の2030年ビジョンを学ぼう」で感じたこと

- ・生協が出来る事、しなきゃならないことは沢山ありますが、単独では出来る事の範囲が狭まれてくる、他団体との協力、先を見て自分たちの求めている生協を自分たちで作りに上げていこう。
- ・人口減少、高齢化、課題はいっぱい。他生協ともつながりながら、組合員のくらしを考えていきたいです。
- ・安心してくらしができる地域社会をめざし、日常業務の中から地域との連携事例を増やしていきたい。
- ・私たちを取り巻く様々な課題をどの様にしていっていいのかわかると、コミュニケーションを取りながら生協の役割を果たしていくには？ 人と人とのつながりとたすけあいではないでしょうか。

